

平成 14 年 7 月 23 日

【会員増強月間によせて】

R.I.D.2630 地区拡大増強委員会 山村 知之 様

ビチャイ・ラタクル 2002-03 年度 R I 会長は、方針の中で

私たちロータリアンは、自分自身十分に慈愛の心を備えているのですが、私たちの前途に横たわる壮大な目標を達成するためには、私たちの信条と負託を共有してくれる人々がもっと沢山必要なのです。私たちの組織の永続を確実なものにする最善の方途は、出来るだけ沢山の人の心に**慈愛の種を播く**ことです。

■ **最初に、自分のクラブに慈愛の種を播く**

良いクラブの親睦とは、会員同士が相手に対して示し合う慈愛と関心の上に成立つものです。あなたのクラブに暖かい歓待の雰囲気があれば、新人を引き入れ、いまの会員達を巻き込んで、これを活性化することができます。

■ **自分の職場に慈愛の種を播く**

■ **地域社会に慈愛の種を播く**

クラブ活動に慈愛という個人的スタンプを押すことにより、奉仕活動の価値を完全に発揮することにもなります。私たちの播いた種が私たちの地域社会で育ち始めるにつれて、他の地域社会も私たちの尽力に与りたいと願ってくれることでしょう—そしてロータリーもまた成長してゆくのです。

■ **そして最後に、世界に慈愛の種を播く**

慈愛無くしてこの苦難に満ちた世界に平和をもたらすことなど望むべくもありません。ロータリーを通じて海を越え国境を超えて慈愛を注ぐこと、全人類に対する基本的生存条件の充足をすること、その中に私たちの慈愛は自ら光り輝くのです。と説いています。



第 2630 地区では、拡大増強及び広報に対するガバナーの基本的な考えについて今期目標として

- **人数だけ増やせばよいとの観念をすてる。**
- **活動は、クラブの自主性を重視しそのクラブの特色と要望に応じた重点的な活動を基本とする。**
拡大するか、増強するか、維持するかは各クラブに選択が委ねられています。
何れも地域社会への働き掛けが共通課題かと思われまます。(中略)

発信をしよう。

そして理解を得よう。

自ずと会員の増強が生まれよう。

「**自主性を重んじ、単に増強のみにこだわらず、質の良いクラブに…**」

を目的に、クラブの奉仕活動が地域社会の理解を深められることにより、会員の維持と増強に繋がると信じます。

大過なく過ごした活動でなく、**何の種を播いたかと言える委員会であり、クラブ**でありたい。維持と増強の、二枚の若葉が芽吹くでしょう。

皆さんの地域で如何にしてロータリーの奉仕の精神が地域社会に伝えられ、定着するかについて考察すると共に、ご討議戴きますようお願い申し上げます。

貴クラブとその業績は、地元地域に知られていますか

貴クラブは、住民の多様性を十分に反映していますか

貴クラブの奉仕プロジェクトは、地元地域にどの程度関連性を持ち、どの程度の効果をあげていますか

あなたが会員候補者だとしたなら、貴クラブに入会したいと思いますか

貴クラブは、魅力ある例会を開催していますか

会員は、クラブ例会にゲストを連れてくることに遠慮や抵抗を感じたりしていることはありませんか

貴クラブの例会プログラムは、快適で気持ちの良い場所で開かれていますか